

平成29年第11回東近江市教育委員会（定例会）会議録

日 時 平成29年11月27日（月） 午後3時30分 開会

場 所 市役所 東庁舎 A会議室

出席者	教育長	藤田 善久	教育長職務代理者	辻 京子
	教育委員	賀川 昌明	教育委員	篠原 玲子
	教育委員	綾 康典	教育部長	中谷 逸朗
	こども未来部長	北村 定男	教育部次長	清水 保
	管理監（国体担当）	石井 義伸	管理監（学校教育担当）	伊藤 晴朗
	管理監（学校給食担当）	辻 平	管理監（幼児担当）	周防 清子
	教育審議員	安藤 宜保	教育総務課長	中村 達夫
	学校施設課長	藤田 孝司	教育研究所長	中野 正堂
	生涯学習課長	横山 義孝	歴史文化振興課長	上川 喜久
	歴史文化振興課博物館担当課長	河合 菊男	幼児施設課長	野田 久雄
	幼児課長	坂田 耕	図書館長	松野 勝治
	事務局（教育総務課長補佐）	久田三智子		

以上23名

事務局 開会

教育長

皆さんこんにちは。本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。それでは、ただ今から平成29年第11回教育委員会定例会を始めさせていただきます。最初に会議録の承認ですが、委員の皆様には「第10回定例会」の会議録があらかじめ事務局から配付され、ご確認いただいていると思います。会議録の内容についてご異議はございませんか。

各委員

— 異議なし —

教育長

それでは、「第10回定例会」の会議録は承認いただききましたので、後ほど賀川委員と篠原委員に御署名をお願いします。なお、今回の第11回定例会の会議録署名委員は篠原委員と綾委員を指名させていただきますので、よろしくをお願いします。

それでは次第に従いまして、「1 報告」に移ります。

はじめに、私から教育長報告をさせていただきます。

今月は行事が多く何度もお会いしていますので、すでに聞いていただいている話もあるかと思いますが、定例の教育委員会ですので、改めて報告させていただきたいと思います。

ここ2週間ほどの間、教育委員の皆様には、たいへん忙しく活動いただいております。

10月16日から17日にかけては、県都市教育委員会連絡協議会の県外研修に沖縄ま

で行っていただきました。私としては、東京大学市川教授の「新学習指導要領は何を目指すのか」と題した御講演で「教えて考えさせる授業の提案」としてお話いただいたことが、大変参考になったと感じています。いわゆるアクティブラーニングで言われている深い学びといったことを、わかりやすく話していただいたものです。私自身アクティブラーニングといったものを十分理解できておらず、学校現場で行われている、児童や生徒同士がグループ単位で学習し合っている姿から何を目的としているのかわからない事も多くありました。

今までの「詰め込み」「教え込み」を旧タイプのわからない授業、また形だけのアクティブラーニングによる「教えずに考えさせる授業」の新タイプのわからない授業とし、そのわからない授業からの脱却として、「教えて考えさせる授業」の提案がありました。基礎知識は教え、その教師の説明する姿がモデルとなって、児童生徒同士が説明し合い理解の確認につなげる。自分の言葉で相手に説明できるということが理解の深まりに繋がるといふこと。こういった活動が類似の問題に対応できたり、違った視点でその課題を捉えられたり、授業の振り返りや次の学習への意欲に繋がるといふのです。これは、私が、日頃から職員に対し、先ず自分の言葉で説明しなさい、そうすることによって自分自身の理解も深まる。と言っていることと同じで、私自身が子ども達にアクティブラーニングを進める上での理解がより深まり、大変参考になったところです。

また、沖縄での修学旅行で、本市の中学生がどんな平和学習を行っているのかを知るため、糸数のガンマやひめゆりの資料館を訪ねました。事前学習もきちっとして臨んでいることを、向こうのガイドの方に教えていただき、感激しました。

20日には市長と校長との学校運営に関する研修会に出席いただきました。研修会では愛東中学校奥井校長から「学力向上の取組」と題し、着任当初の学力の分析から家庭学習の習慣化や授業改善に取り組み、学力の向上につなげた実績について報告いただき、御園小学校富江校長からは、御園小学校が抱える課題である転出入の多さであったり、要保護家庭、片親の家庭、多国籍の家庭が非常に多いことを挙げ、授業力や指導力を向上させるとともに、子ども達の困り感に気づくといったことから、課題を抱えた児童への対応などについて話していただき、その後市長を交えて意見交換を行っていただいたところです。

22日には県都市教育委員会連絡協議会の県内研修が、彦根市で開催され、御参加いただきました。彦根市では「直虎から直政へ」といった講演と博物館を興味深く拝見したところです。また、五つの分科会で県教育委員会との意見交換も行っていました。今回は、県の青木教育長にも御同席いただく中で、県都市教育委員会連絡協議会が県教育委員会と意見交換をする場を持つという初めての試みでした。今後も継続していければと考えているところです。

また、明日は総合教育会議も予定しておりますので、よろしくお願いいたします。さて、少しさかのぼりますが、去る10月27日に発生した永源寺中学校3年生の男子生徒が軽乗用車にはねられ、死亡するという交通事故については、五個荘中学校1年男子生徒の交通事故から間もないことから、校長会議を通じ児童生徒への交通安全指導の徹底を指示したところです。

10月31日には東近江市民大学が終了しました。今年は6月1日から7講座を開催し、577名の受講者が熱心に耳を傾けられました。

最終の公演には雅楽師の東儀秀樹さんをお招きし、講演をいただきました。その講演の

中で東儀さんが話されたことで気になったことを2つ紹介します。

一つは、「日本の教育で英語教育が今後積極的に行われるということですが、外国人が日本人と交流する中で期待することは、英語で話してくれることではなく、日本の文化をきちっと紹介してくれることではないか。必要なのは英語力ではなく、文化力ではないか」と話されたことです。

もう一点は、箏箏（ひちりき）を使って「浜辺の歌」を演奏され、「日本から叙情的な歌が消えていっている。小学校の音楽でも教えなくなった。言葉が難しく子ども達が理解できないからだというのですが、・・・」と話されたことです。

正しいとか、正しくないとかではなく、私としては心に留めておきたいお話であったと感じたところです。

11月3日には市政功労者表彰式とともに教育委員会表彰式を挙げていただきました。教育委員の皆様にもご出席をいただき中、厳粛に式典を挙げていただきました。功労賞9名、文化賞2名、スポーツ賞20名と3団体を表彰させていただきましたところ。

最後に嬉しいニュースが飛び込んで参りましたので紹介させていただきます。第37回全国中学生人権作文コンテスト中央大会において、朝桜中学校1年生の木田美映ミシェルさんの「地球人でええやんか」が文部科学大臣賞を受賞されることが決まったとのことです。

日本人の母と日系ペルー人の父との間に生まれた作者が、国籍を聞かれ「日本人」と答え、笑われたことを母に話したら「あなたは国籍は日本やけどいろんな国の血と誇りが混ざった代表やから地球人でええやんか」といわれ、国籍について考え、両親が「自分の子ども達が日本で暮らしやすい未来を作ろうと活動してきた内容に触れ、地球人でええやんかと言われた意味について理解する。といった内容です。

このコンテストは、全国7,358校960,390人の応募の中から選ばれたもので、文部科学大臣賞は内閣総理大臣賞、法務大臣賞に次ぐ第3席ということです。大変嬉しいニュースですのでご報告させていただきました。私からの報告は以上です。

次に教育部長から報告をお願いします。

## 教育部長

はじめに、沖縄で開催されました県都市教育委員会連絡協議会は、タイトなスケジュールでしたが、委員のみなさん大変お疲れ様でした。2日目の分科会は、綾委員と子どもの貧困対策にかかる教育委員会の取組をテーマとした分科会に出席しました。

箕面市の事例発表では、個人情報保護条例を改正し、子ども成長見守りシステムを構築した上での取組をされておられました。現在の子どもの情報、子どもの家庭に関する情報、学校内や行政の様々な部署に散在している情報を集積し、子どもに結びつけるとともに、その情報の蓄積から、変化を追跡し、対応していくという事例でした。

貧困の連鎖を断ち切るための施策として調査研究しなければならないことを感じたところです。

次に、市政懇話会ですが、永源寺、平田・市辺、蒲生、玉緒・御園、建部・八日市、愛東、湖東、能登川、中野・南部の13地区の9会場で開催されました。11月30日の五個荘が最終となります。

教育委員会に関連する主なものとして、通学路での要望をいただいております。

次に11月11日（土）午後7時30分から東近江大風会館にて「2018祝新成人飛

揚20畳敷東近江大風のりつけ式」が挙行されました。判じもんは「夢 わんさか」です。

平成30年の絵柄は、戌年にちなんで犬とサッカーボールを描き、下には「夢」の文字で「夢 わん (犬) さか (サッカーボール)」と読ませる判じもんになっています。成人を迎える皆さんに「夢」をできるだけたくさん持っていただき、何事にもチャレンジしていったほしいというメッセージが込められています。実行委員の皆さんで、12月14日の完成を目指して作成に取り組んでいただいているところです。

最後に11月18日(土)午後から愛東コミュニティセンターにて「木地師のふるさとシンポジウム」が開催され、全国の木地師の方々を中心に160名の参加がありました。私は実行委員会のメンバーとして出席いたしました。

木地師が日本の伝統文化や近代産業に果たした役割を再評価するとともに、木地師文化の発信や地域活性化への活用策を探られました。

私の方からは以上でございます。

## 教育長

ありがとうございます。続いて、こども未来部長から報告をお願いします。

## こども未来部長

こども未来部からは、最近の動向についてご報告いたします。

来年4月からの幼稚園、認定こども園、保育所等への入園につきまして、10月に受けました定期申込の件数を取りまとめましたので、概要をご報告いたします。

従来の幼稚園に当ります1号認定の申込者数が、1,564人で、昨年より110人減少しています。一方、従来の保育園の3歳以上児に当る2号認定が、1,528人で昨年より17人増加しています。

また、保育所の3歳未満児に当る3号認定も、1,162人で昨年より60人増加しています。合計4,254人の申込があり、昨年より33名減少しています。子どもの数が減少傾向にあるため全体としては減少していますが、入園希望は年々増加しており、就園率が高まる傾向にあります。また、保育所への入所を希望する傾向がより顕著になってきており、国では教育保育料の無償化が検討されておりますが、これが具体化されてくると、就労して子どもを保育所へ預けたいという志向が更に加速するだろうと考えられます。

来年度は、2園の認定こども園化、中野みつくり幼稚園とゆいの杜こども園(民間)によりまして、2号・3号認定児童の受入枠を拡充しておりますが、待機児童の解消には、なお厳しい状況が続きそうであります。

次の話題ですが、さる、22日には愛東あいあい幼稚園において「森林資材を有効活用した玩具!東近江木育ひろば」を開催しました。このひろばでは、クミノ工房(箕川町)の井上代表を講師に迎えまして、4・5歳児の保護者80人と市内の公立と私立の保育教諭ら26人が、永源寺産の杉材を使用した木の玩具を体験しました。

次に、12月議会提出議案のうち、幼稚園条例等の一部を改正する条例についてご説明いたします。本条例案は、来年度、みつくり保育園と中野幼稚園を廃止し、新たに認定こども園1園を設置しようとするものです。

新たに開園する園の名称については、公募した後、選考委員会の審議を経て(仮称)中野・みつくり幼稚園は、「中野むくのき幼稚園」に決定いたしました。命名理由等の詳細については、後ほど担当課長からご説明申し上げます。

また、ひまわり幼稚園、わかば幼稚園、さくらんぼ幼稚園については、園歌と園章を募

集していましたが、このたび応募作品の中から選考委員会においてそれぞれの園歌・園章が決定しましたことをご報告いたします。

以上、私からの報告とさせていただきます。

教育長

ありがとうございました。私と各部長からの報告についてご意見ご質問はございませんか。

篠原委員

平成30年度の入所申込の話で、2号3号認定児童が増えて1号認定児童が減ることですが、保育士の数は足りるのですか。

こども未来部  
管理監

保育士の確保については、現在、現職の嘱託・臨時職員の保育士の方に継続勤務の希望の有無を確認しております。退職の人数等と精査し、新規で嘱託職員等の採用を行う予定です。

篠原委員

待機児童の解消はできないのでしょうか。

こども未来部  
長

来年度は、2号3号認定児童の受入定員枠が中野むくのき幼稚園で105人、ゆいの杜こども園で15人、あと小規模保育事業所2箇所で19人と15人増える予定です。全体で154人増える予定ですが、今後も保育所等の入所希望は増えると思われまじし、年度途中からの待機児童も増えてきますので、努力はしていますが解消は厳しいだろうという見込みです。

教育長

他にご意見ご質問はありませんか。

各委員

— 意見・質問等なし —

教育長

質問等ないようですので、続きまして「2 報告事項」に移ります。「平成29年12月市議会定例会上册議案等について」についてまず教育部各担当課から説明をお願いします。

各担当課

— 資料により説明 —

教育長

ただいま教育部の上册議案について、ご意見ご質問はございませんか。

賀川委員

1 ページの新入学児童生徒学用品費の給付の方法についてですが、以前に就学援助の給食費が保護者の生活費などに使われていたというような報告を聞いています。そうならないような給付金の支給方法など対応されているのでしょうか。

教育総務課長

ただいま説明させていただきましたのは新入学児童生徒学用品費のみについてですが、就学援助費としましては学用品費や通学用品費、給食費などその他にもいくつかの項目がありまして、その部分で未納がありましたらそちらで対応させていただくという形になっ

ています。

賀川委員

それは直接、保護者の方にお金が給付されるのですか。

教育総務課長

未納がある場合は差し引いた形で保護者の方に給付します。

教育長

他にご意見ご質問はございませんか。

篠原委員

A L Tの雇用を民間委託に移行すると、どのような利点があるのですか。

学校教育課長

直接雇用の場合は、自己都合で急に辞められてしまうこともあり安定していなかったのですが、民間委託ですとそのような場合でも次の方にすぐに来ていただけるメリットがあります。またA L Tの研修もしっかりとされているという利点があります。

綾委員

蒲生のかかね文化ホールの駐車場についてですが、この面積で何台の駐車が可能になるのですか。

生涯学習課長

101台駐車できる予定です。

教育長

他にご意見ご質問はございませんか。

綾委員

先程のA L Tの雇用の件ですが、民間委託というのは民間の派遣業者に委託して移行計画にある人数を派遣してもらうということですか。

学校教育課長

はい。そうです。

教育長

他にご意見ご質問はありませんか。

各委員

— 意見・質問等なし—

教育長

それでは、関連しますので議会議決工事等の進捗状況について報告をお願いします。

学校施設課長

— 資料により説明 —

教育長

ご意見ご質問はありませんか。

各委員

— 意見・質問等なし—

教育長

それでは次に、こども未来部各担当課から説明をお願いします。

各担当課

— 資料により説明 —

教育長	ただいまの件について、ご意見ご質問はございませんか。
賀川委員	<p>5ページの園名案の選定についてです。以前に新たなこども園ができた時に、園の名前を募集して決定したことがありましたが、伝統のある保育園や幼稚園を統合して新設されたのだから、選定理由に掲げられていることを何らかの形で新しいこども園の所に掲示や提示をしていくことはできないのかということをご提案しました。その時には、そういう方向でという回答でしたが、現状と今後の対応についてお聞かせ願います。</p> <p>園名の選定理由は時間が経つとだんだんと忘れられていくかと思いますが、その園のアイデンティティーとして重要だと思っております。</p>
こども未来部長	園名の由来などを記したプレートのようなものを園の中に掲示することで、園を訪れた方々に末永く園名の由来を知っていただき、園に親しみや愛着も持ってもらえるようになるというような趣旨だと思っておりますが、そういったことはやっていくべきだと思っております。今年から新設された園も併せて設置する方向で検討させていただき、進めていきたいと思っております。
教育長	<p>できましたら、園名だけでなく園章のデザインの由来や意味なども合わせて紹介したものを作成して欲しいと思っております。</p> <p>他にご意見ご質問はございませんか。</p>
各委員	— 意見・質問等なし —
教育長	続きまして「3 その他」に移ります。各課から報告をお願いします。
各担当課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育課・・・学校教育課だより</li> <li>○教育研究所・・・教育研究所だより</li> <li>○生涯学習課・・・報告事項</li> <li>○生涯学習課・・・市民のつどい</li> <li>○歴史文化振興課 博物館G r・・・報告事項</li> <li>○図書館・・・報告事項</li> </ul>
教育長	各課からの報告について、ご意見ご質問ありませんか。
各委員	— 意見・質問等なし —
教育長	全ての案件が終了しました。全体を通してご意見・ご質問はありませんか。
各委員	— 意見・質問等なし —
教育長	<p>次回の第12回定例会については平成29年12月21日木曜日、午後3時から、場所は東近江市役所 新館 319会議室で開催いたしますのでよろしくお願いいたします。</p>

また、平成30年第1回定例会につきましては、1月25日木曜日をお願いしたいと思います。この日は、定例会終了後に管内の教育委員さんとの交流会を予定しておりますので、併せてよろしく申し上げます。それでは、最後に連絡事項を事務局から申し上げます。

事務局

— 当面の日程についての説明 —

教育長

では、以上をもちまして平成29年第11回教育委員会定例会を終了させていただきます。本日は皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

会議終了 午後4時45分

会議録署名委員

---

会議録署名委員

---

教 育 長

---